



# 助産師レター

Vol.41  
2019.10

滋賀県看護協会助産師職能委員会

秋も深まり、日が短くなってまいりました。  
令和元年の新しい助産師職能委員会の活動が始まり、新しいメンバーが4人加わりました。  
周産期医療の充実と妊産褥婦・赤ちゃんとその家族の幸せのために、滋賀県の助産師の皆さんと共に、  
頑張って参りたいと思います。ご支援よろしくお願ひ致します。  
(溝口 浩子)



## 滋賀県の分娩集約化の流れ 4つのエリアへ編成

今後、滋賀県全体を4つに区分する湖北・湖東/東近江/湖南・甲賀/大津・湖西のエリアへの機能分化が推進されています。その背景として、県内の開業医の医師の高齢化、女性医師の増加により、  
出産・育児により当直体制が維持できない流れがあり、産婦人科医師の働き方改革として集約化を進める必要があります。

大津市民病院 産科閉鎖  
分娩 300件/年  
助産制度利用者は、済生会病院へ

長浜・佐藤クリニック  
11月分娩取り扱い停止  
分娩 600件/年

- 県アンケートで、妊産婦が分娩施設を選ぶ基準として
- 1.家が近い
  - 2.食事がおいしい
  - 3.病室・設備が良い
  - 4.スタッフの対応、評判がよい
  - 5.出産時や入院中のサービスがよい
  - 6.緊急時の対応が可能

〇〇病院  
分娩件数を300件を半数に制限している



## 集約化に向けた計画の周知を望む！

2019年3月末に大津市民病院の分娩取り扱い停止が決定し、2ヵ月後の5月末に停止となりました。  
閉鎖することは、決定事項として3月末に病院へ周知されたが、分娩予定であった妊産婦さんは近隣の病院を探ることとなりました。

また、勤務していた助産師は助産師としてのキャリア形成、家庭事情も考慮して、このまま看護師として働くか助産師としてのキャリア形成を目指すかの選択を考えなくてはなりませんでした。

集約化に向けて、滋賀県で働く助産師のことや、近隣で産むことが出来ない妊産婦のことについては、不透明な状況です。  
助産師も話し合いに参加して、妊産婦が望む出産ができる体制づくりについて、建設的な話し合いを要望しています。

## 助産師職能集会を開催します

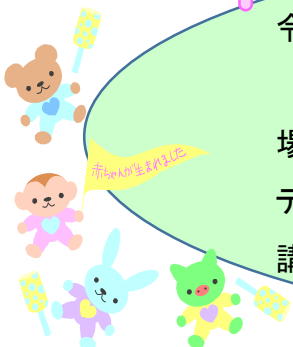
令和2年1月26日(日)

時間:12:30~16:00

場所:滋賀県看護協会看護研修センター

テーマ:「哺乳から咀嚼、口腔発達について」助産師が知っておきたい基礎知識

講師:呉 照美助産師と歯科医師1名



## 令和元年度助産師職能委員会活動方針

安心・安全な出産環境の体制整備の推進  
院内助産・助産師外来の推進に関すること  
産科混合病棟における提供体制に関すること  
出産環境の改善に関すること

子育て世代包括ケアシステムにおける看護機能の強化

1. 医療的ケア児を支援する体制整備に関すること
2. 小児在宅移行支援に関わる人材の育成

周産期医療体制整備と助産実践能力強化に関する課題発見・意見集約

1. 災害時における周産期医療体制の整備
2. 働く看護職の妊娠・出産・育児に関連したこと
3. 女性の生涯にわたる健康を支援するための助産実践能力の強化
4. 助産師実践強化については、CloCMiPの導入・活用に向けての課題発見

## 職能委員長報告



2019年8月21日の全国助産師職能委員長集会で「各県の課題」について、グループワークがあり、①助産師の偏在②産科が混合病棟(8割)であり助産業務に専念できない③院内助産が少なく増えない等の意見がありました。この全ての問題を抱えている滋賀県として、今後この課題解決に向けて本年度も、委員全員で頑張っていきたいと思っております。皆様の色々なご意見を宜しくお願いいたします。

## 研修会開催報告「臨床推論」

令和元年7月20日(土)

「臨床推論を用いた助産師教育のあり方を学び、実践力向上を目指そう！」

講師に京都医療センター附属京都看護助産学校 伊藤美栄先生を迎え、臨床推論とはどういうものか、どんな方法を用いるのかということを講義していただいた。身近な事例の振り返りでアセスメントをすることが実践能力向上に役立ち、言語化して残していくことで病棟内で共有できることを学んだ。CloCMiP更新の必須研修であり、今後も継続していく予定です。

## 近畿地区助産師職能合同研修会

令和元年12月1日(日)

時間:13:30~16:00

場所:大阪府看護協会ナーシングアート大阪  
3階 レモンホール

テーマ:リプロダクティブヘルス/ライツに基づく支援  
~多様な性・思春期教育~

講演Ⅰ:多様な性の支援

講演Ⅱティーンエイジャーへの性教育の実際

アドバンス助産師「ウイメンズヘルスケア」更新の要件として活用できます。

## 第29回滋賀県母性衛生学会

令和2年2月24日(月・祝)

時間:12:30~

場所:公立甲賀病院

テーマ:妊産婦のメンタルヘルスケア

演題締め切り:11月30日(土)必着

## 今年度の活動予定

- ・11月1日 ゆりかごタクシー利用に関する実務研修会(助産師職能委員)
- ・12月1日 近畿地区助産師職能集会
- ・12月18日 滋賀県看護協会 三職能合同集会「三職能で考える看とり、死産、人工妊娠中絶を経験した女性への支援」
- ・1月26日 助産師職能集会
- ・2月24日 滋賀県母性衛生学(公立甲賀病院)

## 令和元年度助産師職能委員の紹介



中村美由紀 西村里江 平本留見 宮崎真由美

岡田幸栄 前川孝枝 溝口浩子 初田聡美(看護協会副会長)